

■ 循環器内科

① スタッフ

前田裕史	副院長兼内科部長、S60 卒、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医
羽鳥光晴	内科科長、H11 卒、日本循環器学会専門医
秋山大樹	H16 卒、日本循環器学会専門医
山田 優	H25 卒

② 入院患者

総数 849 名 (昨年比 +108)

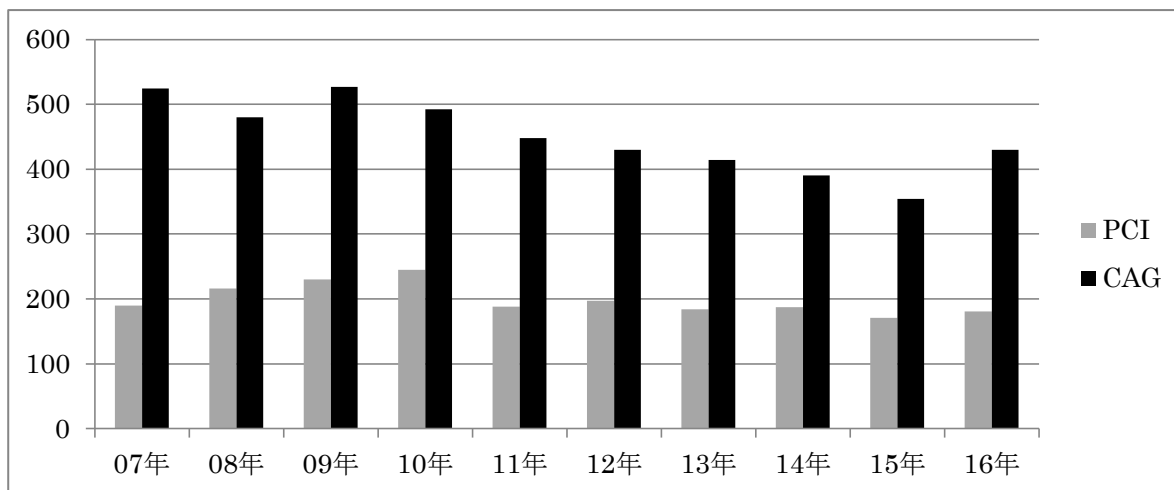
(内訳)

狭心症	155 名 (昨年比 -13)
急性心筋梗塞	65 名 (昨年比 -14) (院内死亡率 1.5%)
弁膜症	45 名
心筋症	18 名
うっ血性心不全	251 名 (昨年比 +17)
不整脈疾患	51 名
閉塞性動脈硬化症	16 名
肺炎	38 名
糖尿病	32 名
感染性心内膜炎	6 名
肺塞栓、肺高血圧	6 名
がん	13 名
老衰	7 名
その他	143 名 (脳梗塞、感染症など)

循環器総入院数は大幅に増加しました。しかし、急性心筋梗塞は減少しています。急性期の搬が減少してきているものと考えられます。その他の項目に含まれる重症度の低い高齢者の感染症が増加しています。

③ 心臓、血管カテーテル検査・形成術

冠動脈造影検査件数は、昨年度より増加しました。また、インターベンション件数も微増しています。しかし、医師数が 4 人(実際にカテーテル検査を行う医師は 3 名)に減っていますので、その分各先生方への負担は増えています。



(内訳)

冠動脈造影	430 例
右心カテーテル検査	12 例
体外式ペースメーカー	30 例
冠動脈形成術	181 例
末梢動脈形成術	39 例

早期成績

冠動脈形成術初期成功率 180/181 例 (99%)

不成功例の1例はガイドワイヤーやデバイスの不通過によるものでした。慢性閉塞症例のPCI例です。

合併症

Q波急性心筋梗塞	0/181 症例
緊急冠動脈バイパス術	0/181 症例
死亡	1/181 症例
急性冠閉塞 (SAT)	0/181 症例
nonQ波心筋梗塞 (側枝閉塞)	0/181 症例
穿刺部血腫・感染	0/181 症例

死亡例は、急性心筋梗塞で、補助循環 (PCPS)、IABP を用いて治療を行い、急性期の再灌流には成功しましたが、救命できませんでした。